

令和7年度

工 事 設 計 書

事 業 名 しっかり守る農林基盤交付金事業

工 事 名 しっかり守る農林基盤交付金事業(中山1工区)工事

工 事 場 所 西伯郡大山町住吉外

令和7年度

工 事 仕 様 書

第 1 総 則

本工事の仕様書に当り、その優先順位を次のとおりにする。

- 1) 特別仕様書（下記のとおり）
- 2) 設計図書
- 3) 鳥取県土木工事共通仕様書（令和7年4月改定版）
- 4) 農林水産省農村振興局制定「土木工事等共通仕様書」

第 2 特別仕様書

1) 工 事 概 要

工 事 名 しっかり守る農林基盤交付金事業(中山1工区)工事

工 事 場 所 西伯郡 大山町住吉外

工 事 内 容 ※工事内容は、別紙参照

2) 工事完成の期限

令和 8年 1月 31日

3) 水準点及び基準線

標高の基準は、指定したKBMによる。

4) 仕様書の削除

本工事に該当のない事項は、削除するものとする。

5) 用地及び附帯工事

工事に必要な材料置場、仮設道水路等一切の敷地及びこれに伴う費用、附帯する工事等は、すべて請負者において処置しなければならない。

6) 工 事 施 工

(1) 施 工 管 理

- 1) 鳥取県土木部制定「土木工事施工管理基準」
- 2) 農林水産省農村振興局制定「土木工事施工管理基準」

(2) 施 工 要 点

1. 工事中諸施設を破損した場合は、関係者及び関係機関に遅滞なく届け出るとともに、その指示により請負者において処理し監督員に速やかに報告すること。
この場合、監督員の確認が必要である。
2. 工事施工に伴う立ち木、水道等の撤去・移設については、監督員の指示により施工しなければならない。
3. 工事中の打合せ事項は、所定の様式により打合せしなければならない。打合せ簿に記載されない事項については、変更の対象としない場合がある。
4. 工事施行についてその期間中所定の様式に伴い、日報を提出しなければならない。
5. 請負者の施工する任意仮設は、この工事に十分な規模で労働基準法、その他関係諸法規に基づくものでなければならない。

(3) 安 全 管 理

- 1) 労働安全衛生法等諸法規を厳守し、工事の安全と円滑な進捗を図ること。

1. 歩行者及び通行車両等の安全を図るとともに、工事中における作業員の安全を確保すること。
2. 掘削作業・土留め作業等工事の安全を図るとともに、建設機械の能力・使用目的を十分に把握し、用途外使用等を行わないこと。
3. 安全計画を立てるとともに組織編成を行い、労働安全衛生に努めること。
4. 労働安全衛生法第59条、第60条及び第60条の2に定める安全衛生教育を実施するほか、工事現場に即した安全・訓練等を、全ての作業員を対象に月当り半日以上時間を割り当てて実施するものとする。

尚、安全・訓練等の実施については「鳥取県土木工事共通仕様書」1-1-6 施工計画、「安全管理」に実施項目を記載し監督員に提出するものとする。

又、請負者は工事完成検査等が安全に実施出来るよう、必要な処置を講じなければならない。

7) 暗渠排水・法下湧水処理

(i) 使用材料 (暗渠排水・法下湧水処理)

本工事に使用する主な資材の規格はつぎのとおりである。

資材名	規格寸法	使用箇所	備考
吸水管	焼き締め土管 φ75	吸水渠用 湧水管用	
排水管	VU φ75	集水渠用 排水管用	耕作面内
吐出管	VU φ75	排水管用	耕作面外
被覆材	単粒度砕石3号 S-40	吸水渠被覆用	
疎水材	単粒度砕石3号 S-40	吸水渠疎水用	

被覆材は極力ダスト成分を除外して使用すること

工事材料の品質規格が明らかでない場合は監督員の指示を受けなければならない。また指定しない材料の使用に当っては監督員の承認を受けなければならない。この場合監督員が指示する品質規格、各種試験表等の関係書類は遅滞なく提出しなければならない。

(ii) 施工手順 (暗渠排水・法下湧水処理)

原則として次の順序による

位置(渠線)の設定→資材配置→堀削→布設→被覆材巻立→埋戻し→排水口の施工→完了

(iii) 工事用機械 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 工程表の提出に当っては、堀削機(バックホウ等)の台数・能力等、工程表の作成根拠を提出しなければならない。
- (2) 工事の遂行上監督員が必要と認め指示した機械はその指示に従い直ちに搬入しなければならない。
- (3) 機械の搬入後は監督員の承認を受けてからでなければ搬出してはならない。

(iv) 工事施工 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 工事期間中に監督員の行なう各種検査、及び試験についてはよりよき工事を行なうため特に協力しなければならない。

(2) 各工事の写真は共通仕様書に準拠するが暗渠排水管・湧水処理管については上・下流の堀削深が判り、なお被覆材の厚さ、幅が判明するよう撮影する。その他堀削、配管布設、被覆材敷均し、埋戻し等の各作業工程が判別できるよう名称、測点、寸法を附記して撮影する。

(3) 暗渠排水管、湧水処理管、排水管、吐出管、水甲の位置は図示のとおりであるがあらかじめ監督員の指示をうけなければならない。

(v) 堀削 (暗渠排水・法下湧水処理)

(1) 堀削に先だち田面がたん水もしくは湿田化した場合には、仮排水路等を必要に応じて施工し水抜きを行って施工条件を良好にし、堀削溝内に流入することのないように配慮すること。

(2) 堀削は各線共に下流から始め順次上流に向うものとする。

(3) 堀削は表土と心土を可能な限り別々に置土し、その混合は極力防止すると共に計画高、計画勾配に不陸のないよう入念に仕上げをすること。

(4) 用水路、排水路を横断堀削する所は施設を損傷させないように人力施工すること。

(5) 堀削の進行につれて堀削深さ、勾配をチェックする、過堀りした場合は監督員の指示によって埋戻すこと。泥土等で埋戻してはならない。

(6) 浸入水のある箇所では堀削溝に貯溜しないよう処置しなければならない。

(vi) 敷設 (暗渠排水・法下湧水処理)

(1) 管の敷設は一筆水田の堀削完了後監督員の承認を得た後でなければならない。

(2) 吸水管の堀削溝に泥水が溜っている状態でこれを敷設してはならない。

(3) 吸水管、集水管の敷設は堀削と反対に上流より始めなければならない。

(4) 管の切断は目の小さい鋸で行ない、接合は充分に差し込み完全に固定しなければならない。

(5) 吸水管の上流端にはキャップを使用すること。

(6) 水閘の取付位置は畦畔あるいは溝畔とするが止むを得ず他に取り付ける場合は監督員の指示に従わなければならない。

(7) 管、水閘の敷設に当っては土砂が管内に入らないよう充分に注意しなければならない。もし管内に入った場合にはこれを完全に排除してから敷設すること。

(8) 水閘は吐出管に接合し、同時に埋設すること。

(vii) 吸水管径の変更 (暗渠排水・法下湧水処理)

堀削後、予想以上の滲出水があり設計管径では不足と認められた場合は、監督員の指示により管径を変更することがある。

(viii) 埋戻し (暗渠排水・法下湧水処理)

(1) 吸水管の埋戻しは水田一筆の管敷設が完了した後、最初に被覆材を持って行なうが、この場合管が移動しないよう丁寧に行い、充分締固め均等に均さなければならない。

(2) 一次埋戻しは人力で、二次埋戻しは機械で行うが、充分締固めを行ない旧地盤と密着するよう完全に行なわなければならない。

(3) 吐出管は管、水閘設置後直ちに 20 cm 以上埋戻し、管の浮上及び移動を防止すること。

(4) 埋戻しは管の亀裂、ひび割れ、管のジョイント（接合部）がゆるんだりはずれたりしないよう充分注意し、もしこのような事が生じた場合には再施工しなければならない。

- (5) 埋戻しは心土、表土を可能な限り区別して、各層毎に埋戻し、最後は表土を持って仕上げを行なう。表土の埋戻しは耕作に支障となる石レキ、木片等の雑物を混入させてはならない。
又堀削及び管敷設の終わった所は、その日の内に人力で埋戻しを行なう。
- (6) 吐出口部は特に入念に埋戻し充分に突き固めて法面仕上を行ない、排水路の流水又は、水田のたん水によって崩壊しないようにすること。
- (7) 埋戻しが完了した場合は、田面の石レキ等一切の障害物を取り除き、監督員の検査を受けなければならない。
- (8) 石レキ除去等については施工状況を把握し変更対応とする。
- (9) 石が出た場合は、監督員と協議により、適切な処分を行う。

(ix) そ の 他 (暗渠排水・法下湧水処理)

- (1) 管埋設深は各筆毎に指定された掘削深、勾配で敷設すること。
- (2) 工事に必要な材料置場、仮設道水路等の一切の用地及びこれに附帯する工事等は、全て請負者の負担において処置しなければならない。
- (3) 既設道路を資材運搬等に使用する場合、損傷しないように注意し、もし損傷させた場合は原状どおり請負者の負担において補修しなければならない。
- (4) 地区外の耕地、宅地への立入りは極力避け、もし立入り使用のときは請負者の責により措置すること。

8) 水路工

(i) 施工要点

1. 水路の底面及び側面は、掘りすぎないように施工すること。特に機械施工の場合は注意すること。
2. コンクリート二次製品の護岸及び水路は出来上りが不揃いにならないよう注意し、滑脱、沈下等の恐れを生じた場合は監督職員の指示を受け適切な処置を取らなければならない。
3. コンクリート二次製品は、検収後、据え付けるものとするが、破損のないよう注意し、施工しなければならない。
4. フリューム等の埋戻しは、一時に埋戻しを行わず数層に分け十分につき固めて施工しなければならない。
工事終了後に崩落、陥没のないよう施工すること。特に、道路側については十分突き固めること。
5. 用排水路で、既製品延長の関係で短区間の取り付けが必要な場合は、監督職員の承認を受け、現場打で施工取り付けして差し支えない。

(ii) 使用材料

(1) 資料の提出について

鳥取県土木工事共通仕様書第2編に基づき、請負者には、特別仕様書及び監督員の指示する工事材料については、使用前に見本又は資料を提出し承諾を得なければならない。

- ア) 日本工業規格（J I S）の表示許可材料を使用する場合、請負者は「工業材料使用届（様式-1）」を提出し監督員の承諾を得るものとする。
- イ) 日本工業規格（J I S）の表示許可材料以外の特殊材料を使用する場合、「工事材料使用承諾書（様式-2）」及び「使用材料一覧表（様式-3）」を提出し監督員の承諾を得るものとする。
- ウ) 発注者が適当と認めた生コンクリートについては、承認資料添付のうえ、使用届を提出するものとする。

(2) 使用材料の数量規格は、数量表の通りである。

- (3) 原則としてレディミクストコンクリート（生コン JIS A5308）を使用するものとする。セメントは普通ポルトランドセメント（JIS R5210）またはB種高炉セメント（JIS R5211）を使用する。

混和材料及びAE剤については必要に応じて監督員が指示するものとする。

名 称	スランプ	粗骨材最大寸法	使 用 箇 所
= 18N/mm ²	8.0cm	40mm	無筋コンクリート

コンクリートの水セメント比は、鉄筋コンクリートについては5.5%以下無筋コンクリートについては6.0%以下とする。

上記以外の生コンを使用する場合は、骨材及びセメント試験成績表を添付した配合計書を提出して、承認を受けなくてはならない。この場合、監督員が必要と認めたときは試験練を行うこと。

(4) モルタルの配合は、下表のとおり。

名 称	モルタル 1 m ³ 当り		使 用 箇 所
	セメント	砂	
1 : 2	720 kg	0.95m ³	フリューム、管、接合
1 : 3	530 kg	1.05m ³	敷モルタル

(5) 基礎に使用する切込み砕石は、RC-40を使用する。

9) 舗装工

(i) 施工要点

1. プライムコート

アスファルト舗装、路盤施工後、よく清掃し 100m² 当たりアスファルト乳剤 PK-3 を 126 リットル/100m² 以上均等に散布すること。

2. タックコート

アスファルト舗装、現況アスファルト舗装をよく清掃し 100m² 当たりアスファルト乳剤 PK-4 を 43 リットル/100m² 以上均等に散布すること。

3. 表層工

(1) アスファルト舗装の場合舗装締め固めは、基準密度の 94%以上、歩道部においては 89%以上とする。

(2) 材料の敷均しは、現場に適合した方法(人力、アスファルトフィニッシャー等)で行い、所定の仕上げ厚が確保出来るようにしなければならない。

(3) 転厚は、所定の密度になるよう、入念に転厚しなければならない。

4. 道路区分

復旧する舗装構成は、設計図書による。

5. 再生加熱アスファルト混合物の使用に関する特記仕様書

(1) 請負者は下記の資材の使用に際し、再生資材を利用するものとする。なお、使用に際し、監督員及び再資源施設側(再生加熱アスファルト混合物を製造する施設)と十分協議すること。

資材名	規格	使用箇所	備考
再生加熱アスファルト混合物	As量5~8% 骨材最大粒径13~20mm	道路舗装	As5~7%密粒As

(2) 再生加熱アスファルト混合物の品質基準は、鳥取県土木工事共通仕様書、プラント再生舗装技術指針等に適合するものとし、使用に先立ち「再生資源利用計画(実績)書」を提出し、工事終了後その実績を記入し提出すること。

(3) 再生骨材の混入率は 10~40%を標準とし、配合設計書を提出し、監督員の承認を得ること。ただし、再生改質 I 型アスファルト混合物は 20%以下を標準とする。

(4) 工事発注後、再生資材の品質及び供給が得られない等やむを得ない事情により上記の指定により難しい場合は別途協議すること。

6. 路盤工

- (1) 路盤工の1層当たり厚さは、仕上げ厚 15cm 以下とする。
- (2) 材料の敷均しは、締め固め効果を考慮し、所定の仕上げ厚が確保出来るよう一様に敷均しを行う。
- (3) 転圧は、基準に適合するよう、入念に締め固めを行わなければならない。
- (4) 路盤の材料及び締め固めの基準は次による。

区 分	材 料	締 め 固 め の 規 定
路 盤	切込砕石	密度は、JISA1214の方法で最大乾燥密度の93%以上とする。

10) 残土処分等

- (i) 掘削により発生する土砂は、(株)赤松産業(西伯郡大山町加茂字ヨゴロ 4310-2 外 9 筆)に搬入する。
- (ii) コンクリート及びアスファルト塊は、(有)きのえ(西伯郡大山町羽田井 646-1)に搬入する。
- (iii) 廃棄ゴムは、(有)山陰クリエイト(米子市和田町西美保 2080-3)に搬入する。

工 程	<p>① (他工事等との調整)―― _____については、_____と関連するので相互の連絡調整を密にすること。</p> <p>② (部分完成、着工保留)―― _____については、_____まで_____ [すること、しないこと]。</p> <p>③ (施工時間) 本工事の施工時間帯は、昼間施工 (8:00～17:00) を見込んでいる。 _____の施工時間は、_____:_____～_____:_____とする。</p> <p>④ (余裕期間設定工事)―― 本工事は、鳥取県余裕期間設定工事に係る実施要領 (平成28年6月9日付第201600036328号県土整備部長通知) の対象工事であり、工事開始日、前払金の請求、技術者の配置及びその他の取扱いについては、同要領の規定による。 工期については、調達公告のとおりとする。</p> <p>⑤ (鋼材の調達の遅れによる工期の延長)―― この工事の工期には、鋼材調達期間として、_____ヶ月を見込んでいるが、受注者の責に帰することができない事由により鋼材の調達が遅れ、工期内に工事を完成することができない場合は、その理由を明示した書面により、発注者に工期の延長変更を請求することができる。</p> <p>⑥ (週休2日工事)―― 【治山工事、林道工事、港湾工事、漁港工事以外】―― 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領 (平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知) の対象工事である。 https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。</p> <p>【治山工事、林道工事】―― 本工事は、鳥取県治山工事及び林道工事における週休2日の取得に要する費用計上実施要領 (令和6年4月26日付第202400033117号森林・林業振興局長通知及び第202400031869号治山砂防課長通知) の対象工事である。 https://www.pref.tottori.lg.jp/317565.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。</p> <p>【港湾工事、漁港工事】―― 本工事は、鳥取県県土整備部週休2日工事実施要領 (平成30年3月12日付第201700297117号県土整備部長通知) の対象工事である。 https://www.pref.tottori.lg.jp/277262.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い週休2日工事を実施すること。 ただし、港湾工事及び漁港工事は、通期の週休2日の補正を適用しない。 そのため、月単位の週休2日に満たない場合、月単位の週休2日の補正係数を除し、請負代金額の減額変更を行う。</p> <p>【農業農村整備工事】―― 本工事は、鳥取県農業農村整備事業工事週休2日工事試行実施要領 (令和6年5月8日付第202400036012号農林水産部農業振興局農地・水保全課長通知) の対象工事である。 https://www.pref.tottori.lg.jp/301989.htm に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い週休2日工事を実施すること。</p>
用 地 関 係	<p>① (用地、物件等未処理)―― 本工事区間の_____には_____があるので、監督員と打合せのうえ施工を行うこと。 なお、_____頃_____の予定である。</p>
支 障 物 件	<p>① (埋設物等の事前調査)―― 工事に係る地下埋設物等の事前調査については、[未調査・(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____)] について調査済み] である。 事前調査済みのうち本工事区域内で埋設が確認されている地下埋設物等は、(水道・下水道・電気・通信・ガス・その他_____)] であるため、各管理者の立会を求めて埋設位置等の確認を行うこと。 その他埋設が想定される未調査の埋設物については事前に確認を行うとともに、管理者不明の埋設物等が確認された場合は、監督員に報告すること。</p> <p>② (支障物件)―― _____の施工に当って、_____が支障となっているが、_____までに移設が完了する見込である。 予定どおり処理できなかった場合は別途協議する。</p> <p>③ (立木の置き場所)―― 工事用地内の立木は伐採し、_____に置くこと。</p>
公 害 対 策	<p>① (低騒音型・低振動型建設機械)―― 本工事のうち施工箇所: _____については、特に生活環境を保全する必要があるため、下記工種の施工に当たっては、低騒音型・低振動型建設機械の指定に関する規定 (国土交通省告示、平成13年4月9日改正) に基づき指定された建設機械を使用するものとする。 該当工種: _____、施工機械: _____</p>

<p>安全対策</p>	<p>① (交通安全施設等)</p> <p>一般交通等に支障を及ぼさないよう十分注意して施工すること。なお、交通整理の配置人員及び必要日数として、以下のとおり見込んでいるが、警察等との協議により変更が生じた場合は別途協議すること。</p> <p>交通誘導員A _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日 工事全体合計 _____人・日</p> <p>交通誘導員B _____人 交替要員 _____人 1日あたり合計 _____人 配置日数 _____日 工事全体合計 _____人・日</p> <p>警備業法に規定する警備員を配置する場合には、交通誘導員A、交通誘導員Bの定義は以下のとおりとする。</p> <p>交通誘導員Aとは、警備業法第2条第4項に規定する警備員であり、警備員等の検定等に関する規則第1条第4号に規定する交通誘導警備業務に従事する者で、交通誘導警備業務に係る1級検定合格警備員又は2級検定合格警備員をいう。</p> <p>また、交通誘導員Bとは、警備業法第2条第3項に規定する警備業者の警備員で交通誘導員A以外の交通の誘導に従事する者をいう。</p> <p>なお、自社の従業員で交通整理を行う場合は、警備業法第14条で規定する以外の者とし、安全教育、安全訓練等を十分行うこと。この場合は交通誘導員Bを配置していることとみなす。</p>
<p>濁水処理</p>	<p>① (濁水処理)</p> <p>工事で発生する濁水に対しては、濁水処理を行うものとし、その工法については、設計図書によるものとする。なお、これにより難しい場合は別途協議すること。</p> <p>また、舗装の切断作業時に発生する排水の処理についても、舗装の切断作業時に発生する排水の処理について(平成24年3月27日付第201100201443号水・大気環境課長通知)(https://www.pref.tottori.lg.jp/secure/1141896/120327hosousetudan.pdf)に基づいて適正に処理すること。</p>
<p>建設副産物の処理</p>	<p>【建設発生土(処理)】</p> <p>建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書(https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm)により適切に対応すること。</p> <p>① (他工事等流用)</p> <p>建設発生土は _____市・町・村 _____地内の _____に _____に運搬(片道運搬距離 _____km)するものとする。</p> <p>② (建設技術センター)</p> <p>建設発生土は _____市・町・村 _____地内のセンター事業所に運搬(片道運搬距離 _____km)するものとする。なお、処理費として1m³当り _____円をセンターに支払うこと。センター事業所へ搬出する土砂の土質は、各事業所が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上)</p> <p>③ (民間残土受入地)</p> <p>建設発生土は大山町加茂地内の(株)赤松産業に運搬(運搬距離12.0km)するものとする。なお、処理費として1m³当り1,730円を(株)赤松産業に支払うこと。民間残土受入地へ搬出する土砂の土質は、各受入地が指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上)</p> <p>④ (土質改良プラント)</p> <p>建設発生土は _____市・町・村 _____地内の _____に _____に運搬(片道運搬距離 _____km)するものとする。なお、処理費として1m³当り _____円を _____に支払うこと。土質改良プラントへ搬出する土砂の土質は、各プラントが指定している土質性状同等以上とすること。(土質性状(記載例)砂質土、コーン指数300kN/m²以上)</p> <p>【コンクリート塊・アスファルト塊・建設発生木材(処理)】</p> <p>① (分別解体等)</p> <p>コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材は、現場内において分別解体するものとする。その方法は、別表のとおりとする。なお、その費用を下記のとおり見込んでいる。</p> <p>コンクリート塊 1m³当り _____円 アスファルト塊 1m³当り _____円 建設発生木材 1m³当り _____円</p> <p>② (他工事等流用)</p> <p>〔Co雑割材・ _____〕は、 _____市・町・村 _____地内 _____工事で使用するものとする。</p>

③ (バイオマス発電燃料加工施設への搬出)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____のバイオマス発電燃料加工施設への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、1t当り_____円を見込んでいる。搬出先を変更する場合には、理由を付して協議を行うこと。

なお、公共工事で伐採する支障木は、一般本質バイオマスとして区分される。一般本質バイオマスであることは、立木の所有者(鳥取県)自らにより由来を証明することを基本とするが、伐採・運搬を行う者が由来を証明する場合は、鳥取県森林組合が登録・審査した認定団体でなければならない。当該工事は、[所有者(鳥取県)・伐採・運搬を行う者]により由来の証明を行うこととしているため、着手にあたっては事前に監督員に確認すること。

④ (木材市場等へ売却)

建設発生木材は_____市・町・村_____地内の_____への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し_____円を見込んでいる。これは、他の木材市場等への売却を妨げるものではないが、売却先を変更する場合は理由を付して協議すること。

⑤ (再資源化施設へ搬出)
コンクリート塊、アスファルト塊、建設発生木材等は、再生資源として、下記の再資源化施設等への搬出を見込んでいる。これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが搬出先を変更する場合は理由を付して協議を行うこと。再資源化施設業者等と書面による委託契約を行うとともに、運搬車両ごとに manifests を発行するものとする。

なお、再資源化施設へ搬出が完了したときは、書面により報告すること。

(施設の名称・受入れ費用) コンクリート塊 大山町羽田井地内の(有きのえ (運搬距離5.3km)、費用 1 t 当り2,100円

アスファルト塊 大山町羽田井地内の(有きのえ (運搬距離5.3km)、費用 1 t 当り2,200円

建設発生木材 _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

その他 _____市・町・村_____地内の_____ (運搬距離_____km)、費用 1 t 当り_____円

(受入れ時間帯) 8時～17時(平日)

(受入れ条件) ア 路盤材、土砂、金属片等が混入していないこと。

イ コンクリート塊、アスファルト塊の径は500mm以下であること。

ウ 建設発生木材に関しては、泥等の付着がなく、径_____cm以下、長さ_____m以下であること。

エ 2次公害発生の恐れのある物質(廃油等)を含まないこと。

⑥ (最終処理等)

_____については、_____市・町・村_____地内の産業廃棄物処理場への搬出(片道運搬距離_____km)を想定し、その費用として1t当り_____円を見込んでいる。

これは、他の施設へ搬出を妨げるものではないが、搬出先を変更する場合は協議を行うこと。

⑦ (産業廃棄物の処理に係る税)

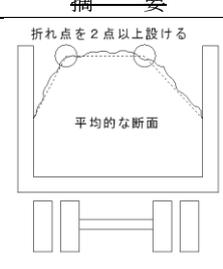
産業廃棄物の処理に係る税に相当する額を、_____円見込んでいる。

⑧ (伐木工の数量)

伐木工は伐木工歩掛(平成27年8月12日付第201500076595号鳥取県国土整備部技術企画課長通知)に基づき参考数量で算出しているため、実績について見積もり等により監督員に協議を行うこと。

⑨ (建設発生木材の出来形数量)

建設発生木材の運搬量、搬出量は出来形数量に応じて設計変更を行う。そのため、次のとおり数量管理を行うこと。

工種	項目	規格	摘要
建設発生木材運搬量	現場において運搬車の計測を行うこと。 平均的な1断面を計測。計測に当たっては、頂部に最低2箇所の折れ点を設けること。 断面積に荷台の延長を乗じて体積を算定する。	運搬車全数の測定を行うこと。また、10台に1台の割合で写真管理を行うこと。ただし、搬出台数が10台に満たない場合は、2台以上写真管理を行うこと。 なお、manifestsで運搬量(体積(空m ³))が確認出来る場合は、計測、写真管理は不要とする。	折れ点を2点以上設ける 平均的な断面 
建設発生木材搬出量	manifests又は伝票管理を行うこと。	運搬車全数の管理を行うこと。	伝票は処分業者が発行したものでなければならない。

⑩ (manifests)

産業廃棄物の運搬又は処分を他人に委託するときは、廃棄物の処理及び清掃に関する法律に基づき manifests を作成すること。ただし、一般廃棄物や有価物は不要である。

建設副産物の処理

建設副産物の使用

① (建設発生土の使用)

~~_____工事から〔本工事運搬・相手方運搬〕の建設発生土を受入れ、使用箇所：_____に使用する。~~

~~なお、建設発生土は、再生資源の利用の促進に係る特記仕様書~~

~~(<https://www.pref.tottori.lg.jp/312034.htm>)により適切に対応すること。~~

② (再生資材の使用)

~~ア Co雑割材は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。~~

~~イ アスファルト・コンクリート切削殻等は、_____工事から運搬し、使用箇所：_____に使用する。~~

~~ウ 再生クラッシュラン〔規格：Re=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~

~~エ 再生コンクリート砂〔規格：RS=_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~

~~オ 再生加熱アスファルト混合物〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~

~~カ その他再生資材〔資材名：_____〕〔規格：_____〕は、使用箇所：_____に使用する。~~

~~キ 本工事において、再生クラッシュランの使用は上記ウに記載のものを想定している。当該砕石について、受注者が再生資源化施設側と供給状況等について協議し、再資源化施設側から書面により供給の確保ができない旨の回答があった場合には、他の再生砕石を使用することとし、設計変更の対象とする。その上で他の再生砕石の確保も難しいと判断された場合には、新材を使用することとし、設計変更の対象とする。~~

~~ク 本工事において、粒度調整砕石の使用は新材を想定している。ただし、受注者が再生材の使用を希望する場合には、受注者において供給状況を確認し、再生材の使用について協議することとし、設計変更の対象とする。~~

① (農地の一時転用について)

~~本工事を施工するために必要な仮設道路等を農地に設置する目的で、受注者が農地を借地する場合は、事前に所轄農業委員会と協議を行い、農地法第5条第1項に基づく農地一時転用の許可を得ること。~~

~~【令和5年4月1日時点で、前工事等の請負業者が一時転用している農地を継続して利用する場合は、以下も記載する。(該当がなければ記載を削除)】~~

~~受注者は、前工事等の請負業者が農地一時転用している農地を継続して利用する場合、速やかに変更報告書を作成の上、所轄農業委員会へ提出し、工事完了後はその旨を連絡すること。~~

② (農地の賃貸借)

~~ア _____の用途に使用するため、_____市・町・村 _____番地を賃貸借すること。~~

~~イ 土地賃貸借契約書に「鳥取県との建設工事請負契約に基づき、土地の貸借権は鳥取県が有することとし、原状復旧の責は鳥取県が負い、受注者がその任に当たるものとする。」を明記すること。~~

~~ウ 賃貸人に賃貸借料を支払うこと。~~

~~エ 工事完了後、速やかに農地の原状に復旧すること。~~

~~オ イにより契約した地番における、農地一時転用許可は不要である。~~

① (自社施工)

~~本工事においては、(※) _____工 (_____工を除く) のうち少なくとも _____千円までの部分は、鳥取県県土整備部自社施工対象工事適正実施要領に定めるところにより自社施工しなければならない。~~

~~※該当する細別(レベル4)を記載する。~~

② (工事名称)

~~工事標示板に記載する名称は、しっかり守る農林基盤交付金事業(中山1工区)工事 とする。~~

~~なお、工事標示板には、原則として県産木材を使用すること。また、その他の保安施設等についても積極的に県産木材を使用すること。~~

その他

③ (景観評価)

ア 本工事は、鳥取県公共事業景観形成指針に基づく、景観評価対象事業〔である・ではない〕。
 イ 景観評価対象事業の場合、施工にあたっては設計図書によるほか、必要に応じて監督員と協議すること。

④ (工事成績評定)

本工事は、工事成績評定要領（以下「評定要領」という。）に基づく工事成績評定の対象と〔する・しない〕。工事成績評定の対象外とするのは以下の〔ア・イ・ウ・エ・オ〕に該当するため。
 ア 請負対象設計金額（請負契約の対象となる部分の設計金額をいい、請負契約締結後に請負対象設計金額を変更した場合には、当初請負対象設計金額とする。以下同じ。）が、500万円未満の一般土木工事及び250万円未満の建築・設備工事
 イ 鳥取県の管理する道路（道路法（昭和27年法律第180号）第2条第1項に規定する道路に限る。）・河川・湖沼・港湾を維持し、修繕し、又は管理（公共土木施設災害復旧事業費国庫負担法（昭和26年法律第97号）第2条第2項に規定する災害復旧事業として行われるものを除く。）することを目的として発注された工事（年間維持、港湾浚渫、河川掘削、伐開、塵芥処理工事）
 ウ 災害等の初期活動で緊急かつ迅速な対応が不可欠である緊急応急工事
 エ 機器の納品、部品取替等の建設工事（融雪施設点検補修、道路照明灯点検補修、標識灯設置工事等）
 オ 工事目的物を伴わない建設工事（旧橋撤去、残土撤去・運搬工事等）

⑤ (監督体制)

本工事は監督体制は〔一般・重点〕監督とする。
 重点監督の工種は_____とし、その他の工種は一般監督とする。
 なお、鳥取県建設工事低入札価格調査制度対象工事となった場合は、別途通知する。

⑥ (三者協議)

本工事は、（対象工事の区分を記載）工事であり、工事着工までに、施工条件及び施工の留意点等を確認するため、発注者並びに当該工事の測量等業務受注者及び施工受注者の三者で協議するものとする。（重点監督工事等に適用）

⑦ (技能士常駐)

その他

本工事には、下記のとおり鳥取県土木工事共通仕様書特記事項に基づく技能士常駐対象工種が含まれており、該当工種の作業期間は、技能士が工事現場に常駐しなければならない。
 ア 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 イ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁
 ウ 技能士種別：_____技能士、該当工種：_____工、特記事項根拠：_____頁

⑧ (電子納品)

情報共有システムを利用する工事は、原則として工事完成図書を電子納品すること。ただし、止むを得ない事情がある場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 情報共有システムを利用しない工事であっても、受注者が電子納品を希望する場合は、監督員と協議の上、電子納品対象工事とする。
 電子納品に当たっては、<https://www.pref.tottori.lg.jp/171188.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県電子納品・情報共有運用ガイドライン」（以下「ガイドライン」という。）に従い適正に納品すること。
 オンライン電子納品を実施する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318010.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新のオンライン電子納品試行要領（令和6年6月12日付第202400071599号技術企画課長通知）に従うこと。

⑨ (情報共有システム)

予定価格4千万円以上の工事は、原則として情報共有システム（以下「システム」という。）を利用することとする。ただし、止むを得ない事情等によりシステムを利用できない場合は、監督員と協議の上、紙書類によることができる。
 予定価格4千万円未満の工事であっても、受注者がシステムの利用を希望する場合は、監督員と協議の上、システムを利用することができる。
 システム利用に当たっては、ガイドラインに従い適正に実施すること。

⑩ (寒中コンクリート)

本工事は、寒中コンクリートとして施工を行わなければならない期間があるので、適正に実施すること。なお、寒中コンクリートの養生費用については、「寒中コンクリートの養生費用について」（平成23年12月7日付第201100123529号県土整備部長通知）に基づいて処理することとし、設計変更の対象とする。

⑪ (建設機械の賃料の採用単価)

ア 建設機械の賃料について、ラフテレーンクレーン及び高所作業車以外の建設機械は長期割引単価を標準としている。
 通常単価を採用した建設機械〔無し・有り()〕
 イ ラフテレーンクレーン及び高所作業車について、1ヶ月以上の長期利用に当たるものは長期割引単価を採用し、1ヶ月未満の利用に当たるものは通常単価を採用している。
 本工事の()工で使用を想定しているラフテレーンクレーン(規格()t吊)の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価()月号、()頁)を採用し、本工事の()工で使用を想定している高所作業車(規格())の採用単価は(長期割引単価・通常単価)(建設物価()月号、()頁)を採用している。

⑫ (現場環境改善)

本工事は、現場環境改善(率計上分)実施対象工事と〔する・しない〕。
 下表の内容のうち原則として各費目(仮設備関係、営繕関係、安全関係及び地域連携)ごとに1実施内容ずつ(いずれか1項目のみ2実施内容)の合計5つの実施内容を実施すること。港湾及び漁港事業は、項目に防災・危機管理関係を含めることができる。
 実施に当たっては、施工計画書に実施内容及び実施時期を記載し、実施後に監督員に写真等を提出すること。
 地域の状況・工事内容により組み合わせ、費目数及び実施内容を変更する場合は、原則として設計変更は行わないが、その内容(目的に資するものであること)について監督員の確認を受けること。
 1内容も実施困難な場合は、監督員と協議の上、設計変更により率計上は行わない。

計上費目	実施内容
仮設備関係	1. 用水・電力等の供給設備, 2. 緑化・花壇 3. ライトアップ施設, 4. 見学路及び椅子の設置 5. 昇降設備の充実, 6. 環境負荷の低減
営繕関係	1. 現場事務所の快適化(女性用更衣室の設置を含む) 2. 労働者宿舍の快適化 3. デザインボックス(交通誘警備員待機室) 4. 現場休憩所の快適化 5. 健康関連設備及び厚生施設の充実等
安全関係	1. 工事標識・照明・安全具等安全施設のイメージアップ(電光式標識等) 2. 盗難防止対策(警報機等) 3. 避暑(熱中症予防)・防寒対策
地域連携	1. 完成予想図, 2. 工法説明図, 3. 工事工程表 4. デザイン工事看板(各工事PR看板含む) 5. 見学会等の開催(イベント等の実施含む) 6. 見学所(インフォメーションセンター)の設置及び管理運営 7. パンフレット・工法説明ビデオ 8. 地域対策費等(地域行事等の経費を含む) 9. 社会貢献
防災・危機管理関係 (港湾・漁港事業)	1. 防災訓練(地震・台風等の自然災害に対する訓練)

⑬ (熱中症対策)

熱中症対策について <https://www.pref.tottori.lg.jp/291941.htm> に掲載の熱中症予防対策資料を参考に熱中症予防対策を実施すること。
 また、気象庁から高温注意報(最高気温35℃以上が予想される場合)が発表された日においては、作業の中断、作業時間の短縮を行うか、十分な水分、塩分の摂取のほか休憩場所の整備及び十分な休憩時間を確保するなどの熱中症予防対策を確実に実施したうえで作業を行うこと。

その他

⑭ (現場管理費補正)

~~【治山工事、林道工事以外】(該当しない場合は削除)~~

本工事は、熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年6月12日付第201900066875号県土整備部長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/285759.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規定に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

~~【治山工事、林道工事】(該当しない場合は削除)~~

本工事は、治山事業及び林道事業における熱中症対策に資する現場管理費補正の試行要領(令和元年7月31日付第201900109943号農林水産部森林・林業振興局長通知及び第201900108860号県土整備部治山砂防課長通知)の対象工事である。

熱中症対策に資する現場管理費補正の適用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/318163.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の同要領の規程に従い、工事着手前に提出する施工計画書に、工事期間中における気温の計測方法及び計測結果の報告方法を記載すること。計測結果は施工計画書に基づき、計測結果の資料を王期末の14日前までに提出すること。

⑮ (日本芝生産地への配慮)

日本芝の生産に配慮した植生工について(令和2年2月27日付第201900299342号県土整備部長通知)(<https://www.pref.tottori.lg.jp/290178.htm>)に基づき、日本芝を生産するほ場と、その前後も含めたほ場に隣接する法面においては、植生工にバミューダグラスの使用を禁止する。

ア [張芝工・筋芝工] は、日本芝の [野芝・高麗芝] を使用すること。

イ [植生基材吹付工・客土吹付工・種子散布工・枠内吹付工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。配合種子は監督員と協議のうえ決定すること。

ウ [わら芝工・植生シート工・植生マット工] に使用する種子に「バミューダグラス」は使用しないこと。バミューダグラスの代替えの種子として〇〇を使用し、材料費として1m²当り 〇〇円を見込んでいる。

⑯ (ICT活用工事[受注者希望型(LightICTを含む)])

~~【農業農村整備工事以外】(該当しない場合は削除)~~

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「ICT活用工事特記仕様書(受注者希望型)」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/269460.htm>を参照すること。

~~【農業農村整備工事】(該当しない場合は削除)~~

本工事は、受注者希望型(LightICTを含む)の対象工事であるので、最新の「鳥取県農林水産部ICT活用工事実施要領」によること。

実施要領の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/301989.htm>を参照すること。

⑰ (土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事)

本工事は、労働安全衛生規則第2編第12章「土石流による危険の防止」に定める、土石流が発生する恐れのある現場において行う工事である。

安全対策について、<https://www.pref.tottori.lg.jp/295476.htm>に掲載の「土石流の発生・到達するおそれのある現場での工事における安全対策について」に基づいて実施すること。

⑱ (標示板の設置)

本工事は「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づく工事であり、標示板の工事種類について「国土強靱化対策工事(5か年加速化対策)」と標記すること。

標示板の記載及び記載内容については、道路・河川工事現場における標示施設の設置の徹底について(令和3年6月1日付け 国土交通省大臣官房技術調査課建設システム管理企画室長 事務連絡)を参考にすること。

⑲ (CCUS活用推奨工事[受注者希望型])

本工事は、受注者希望型の対象工事である。CCUSの活用を希望する場合は、最新の「鳥取県建設キャリアアップシステム活用推奨工事(受注者希望型)特記仕様書」によること。

仕様書の改定状況は<https://www.pref.tottori.lg.jp/291820.htm>を参照すること。

⑳ (遠隔臨場)

本工事は、遠隔臨場の対象工事である。遠隔臨場の活用を希望する場合は、<https://www.pref.tottori.lg.jp/307254.htm>に掲載された本工事調達公告日時点で最新の「鳥取県建設工事・測量等業務の遠隔臨場に関する実施要領」によること。

㉑ (施工管理システム)

本工事は、施工管理システムの利用可能工事(試行)である。施工管理システムの利用を希望する場合は、事前に監督員と協議を行うこと。なお、利用に関するアンケート調査に協力すること。対象とする施工管理システムは以下のホームページに掲載されたものである。

<https://www.pref.tottori.lg.jp/310672.htm>

㉒ (申請者との完成確認)

本工事完成後は必ず申請者又は申請者代理人等と現地確認をして、工事完成の承諾を得ること。

その他

※ 明示する項目を 〇〇 部分に記入または追記し、不要部分は「-」で削除して使用すること。



誰もが住んでみたい村に
農業農村整備

令和7年度

しっかり守る農村基盤交付金事業

しっかり守る農村基盤交付金事業（中山1工区）工事

金抜き設計書

（当初）

大山町

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
直接工事費(仮設工を除く)					
・直接工事費					
・ ・ 中山1工区	1.000	式			
・ ・ ・ NK-1住吉(水路改修)	1.000	式			1式当たり
左岸	1.000	式			
表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去	2.170	a			歩A・単A T単 1号
柵渠側壁撤去・再設置(NK-1)	57.000	枚			歩A・単A T単 6号
H=300					
吸出し防止材布設(左)(NK-1)	28.500	m			歩A・単A T単 7号
合計					
・ ・ ・ NK-2退休寺(暗渠排水)	1.000	式			1式当たり
表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去	2.450	a			歩A・単A T単 1号
暗渠排水工(NK-2)	13.800	m			歩A・単A T単 9号
焼締管 75、(掘削深H=0.61)、小運搬D=100以下					
暗渠排水工(既設管入れ替え)(NK-2)	10.000	m			歩A・単A T単 8号
焼締管 75、(掘削深H=0.74)、小運搬D=100以下					
SP床掘り	0.290	m3			歩A・単A S単 21号
土砂,上記以外(小規模),-,-					
吐出管土工	0.280	m3			歩A・単A T単 3号
埋戻					
人力床均し	0.150	m ²			歩A・単A S単 31号
土砂					
止蓋(陶管)	2.000	枚			歩A・単A
75					
+字管(陶管)	1.000	個			歩A・単A
75					
水開	1.000	箇所			歩A・単A T単 4号
水平式 75					
合計					
・ ・ ・ NK-3退休寺(暗渠排水)	1.000	式			1式当たり
表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去	3.320	a			歩A・単A T単 1号
暗渠排水工(NK-3)	73.500	m			歩A・単A T単 10号
焼締管 75、(掘削深H=0.69)、小運搬D=100以下					
SP床掘り	1.660	m3			歩A・単A S単 21号
土砂,上記以外(小規模),-,-					
吐出管工	10.400	m			歩A・単A T単 2号
吐出管土工	1.590	m3			歩A・単A T単 3号
埋戻					
人力床均し	1.560	m ²			歩A・単A S単 31号
土砂					
止蓋(陶管)	1.000	枚			歩A・単A
75					
両ソケット(陶管)	1.000	個			歩A・単A
75					
45°エルボ(塩ビ管)	2.000	個			歩A・単A
75					
L管45°(陶管)	1.000	個			歩A・単A
75					
水開	1.000	箇所			歩A・単A T単 4号
水平式 75					
合計					
・ ・ ・ NK-6栄田(高上げ工)	1.000	式			1式当たり
SP掘削	18.000	m3			歩A・単A S単 17号
土砂,現場制約あり,-,-,-,-,-,-					
人力土工(盛土・埋戻)	15.000	m3			歩A・単A S単 2号
粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人カク					
SP積込(ルーズ)	4.000	m3			歩A・単A S単 19号
土砂,小規模(標準以外)					
SP土砂等運搬	4.000	m3			歩A・単A S単 23号
小規模,ハツ山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,17.0km以下					
残土処分費	4.000	m3			歩A・単A S単 5号
赤松産業					
SP法面整形	25.800	m ²			歩A・単A S単 24号
盛土部,有リ,有リ,砂及び砂質土,粘性土					

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 1号 *** 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,タンバ()		m3			歩A・単A
	*** S単 - 2号 *** 人力土工(盛土・埋戻)					
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ		m3			歩A・単A
	*** S単 - 3号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m		m3			歩A・単A
	*** S単 - 4号 *** 機械小運搬(土砂類、生コン)					
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満		m3			歩A・単A
	*** S単 - 5号 *** 残土処分費					
	残土処分費 赤松産業		m3			歩A・単A
	*** S単 - 6号 *** 鉄筋コンクリート欄架据付工(機械)					
	鉄筋コンクリート欄架据付工(機械) 1.500m,1.5(m/組),B型,0.16㎡以上 2.50㎡以下,あり		m			歩A・単A
	*** S単 - 7号 *** 硬質ポリ塩化ビニル管人力布設					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,75mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所		m			歩A・単A
	*** S単 - 8号 *** 暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))					
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50mを超え100m以下,あり		ton			歩A・単A
	*** S単 - 9号 *** 暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))					
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50m以下,あり		ton			歩A・単A
	*** S単 - 10号 *** 暗渠排水工(小運搬(被覆材))					
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 砕石,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下		m3			歩A・単A
	*** S単 - 11号 *** 暗渠排水工(バックホウ掘削)					
	暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管, 75mm		m			歩A・単A
	*** S単 - 12号 *** 暗渠排水工(バックホウ掘削)					
	暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.7 < h 1.0m,土管・陶管, 75mm		m			歩A・単A
	*** S単 - 13号 *** トラック[クレーン装置付]					
	トラック[クレーン装置付] クレーン装置付 4.5t吊,運転1時間当たり算出		時間			歩A・単A
	*** S単 - 14号 *** 敷鉄板設置・撤去工					
	敷鉄板設置・撤去工 設置~賃料~撤去,8,1,あり		㎡			歩A・単A
	*** S単 - 15号 *** 輸送費(仮設材)					
	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板),基地(積込・取卸)+現場(積込・取卸),0.0,0.0		ton			歩A・単A
	*** S単 - 16号 *** SP 掘削					
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -, 標準, -, -, -		m3			歩A・単A
	*** S単 - 17号 *** SP 掘削					
	SP 掘削 土砂,現場制約あり, -, -, -, -, -		m3			歩A・単A
	*** S単 - 18号 *** SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)		m3			歩A・単A
	*** S単 - 19号 *** SP 積込(ルーズ)					
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外)		m3			歩A・単A
	*** S単 - 20号 *** SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,現場制約あり, -, -		m3			歩A・単A
	*** S単 - 21号 *** SP 床掘り					
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模), -, -		m3			歩A・単A

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 22号 *** SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬 小規模,バツ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,13.0 km以下		m3			歩A・単A
	*** S単 - 23号 *** SP 土砂等運搬					
	SP 土砂等運搬 小規模,バツ山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,17.0 km以下		m3			歩A・単A
	*** S単 - 24号 *** SP 法面整形					
	SP 法面整形 盛土部,有り,有り,砂及び砂質土,粘性土		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 25号 *** SP 吸出し防止材(全面)設置					
	SP 吸出し防止材(全面)設置 -		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 26号 *** SP 基礎碎石					
	SP 基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,あり,再生クラッシュヤラン RC-40 40~0mm		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 27号 *** SP コンクリート					
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉P) W/C65%		m3			歩A・単A
	*** S単 - 28号 *** SP 型枠					
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 29号 *** SP 目地板					
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(湿青質板) t=10mm		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 30号 *** モルタル現場練合わせ					
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2		m3			歩A・単A
	*** S単 - 31号 *** 人力床均し					
	人力床均し 土砂		m ²			歩A・単A
	*** S単 - 32号 *** 人力石礫除去工					
	人力石礫除去工 1m3/10a未満m3/10a,あり		a			歩A・単A
	*** S単 - 33号 *** 田面砕土(ロータリ)					
	田面砕土(ロータリ) 田面砕土,良好,25m,100m,1回掛,乾燥,粘性土,0~4° 未満		a			歩A・単A
	*** T単 - 1号 *** 表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去					
			a			歩A・単A
	*** T単 - 2号 *** 吐出管工					
			m			歩A・単A
	*** T単 - 3号 *** 吐出管土工					
	埋戻		m3			歩A・単A
	*** T単 - 4号 *** 水閘					
	水平式 75		箇所			歩A・単A
	*** T単 - 5号 *** 機械回送費					
			現場			歩A・単A
	*** T単 - 6号 *** 柵渠側壁撤去・再設置(NK-1)					
	H=300		枚			歩A・単A
	*** T単 - 7号 *** 吸出し防止材布設(左)(NK-1)					
			m			歩A・単A
	*** T単 - 8号 *** 暗渠排水工(既設管入れ替え)(NK-2)					
	撓縮管 75、(掘削深H=0.74)、小運搬D=100以下		m			歩A・単A

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
*** S単 - 1号 ***						
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,タンバ()			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分	粘性土・礫質土		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)作業区分	埋戻		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分	はね付け+まき出し		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)締固め区分	タンバ()		夜間制約作業時間:0.0		
	特殊作業員					
	普通作業員	0.340	人			
	諸雑費 10%	1.330	人			
		0.100				
	合計					算出数量 10.000 m3
	単価		m3			
*** S単 - 2号 ***						
	人力土工(盛土・埋戻)		m3		10.000	歩A 当たり算出
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,人力タコ			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)土質区分	粘性土・礫質土		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)作業区分	埋戻		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
	3)施工区分	はね付け+まき出し		時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
	4)締固め区分	人力タコ		夜間制約作業時間:0.0		
	普通作業員					
		2.040	人			
	合計					算出数量 10.000 m3
	単価		m3			
*** S単 - 3号 ***						
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)運搬距離区分	30~50m		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
				夜間制約作業時間:0.0		
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式] 加-ラ型油圧ダンプ 4.0ton	1.570	供用日			
	軽油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合計					算出数量 71.100 m3
	単価		m3			
*** S単 - 4号 ***						
	機械小運搬(土砂類、生コン)		m3		1.000	歩A 当たり算出
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1)材料	砂・砂利・栗石		超勤時間:0.0	深夜時間:0.0	
	2)運搬距離区分	100m未満		公社割引補正:なし	週休:補正なし	
				時間的制約:なし	制約作業時間:0.0	
				夜間制約作業時間:0.0		
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式] 加-ラ型油圧ダンプ 4.0ton	1.570	供用日			
	軽油	65.000	L			
	運転手(特殊) (不整地運搬車運転)	1.000	人			
	合計					算出数量 65.100 m3
	単価		m3			
*** S単 - 5号 ***						

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	残土処分費		m3		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	残土処分費			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	赤松産業			1)地域資材単価コード 2)資材規格 3)単価の入力	赤松産業 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0
	残土処分費	1.000	m3			
	赤松産業					算出数量 1.000 各単位
	合計					
	単価					
	*** S単 - 6号 ***					
	鉄筋コンクリート柵渠据付工(機械)		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	鉄筋コンクリート柵渠据付工(機械)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	1.500m,1.5(m/組),B型,0.16㎡以上 2.50㎡以下,あり			1)鉄筋コンクリート柵渠1組当り単価(円/組) 2)柵渠1組当たりの実アーム間隔長(m/組) 3)柵渠1組当たりアーム間隔(m/組) 4)柵渠型式 5)柵渠材料断面の規格(㎡) 6)長期割引単価区分(賃料機械)	超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0
	鉄筋コンクリート柵渠	1.500m		1.5(m/組) B型		
	0.16㎡以上 2.50㎡以下					
	鉄筋コンクリート柵渠	15.600	組			計上無し
	土木一般世話役	1.000	人			
	特殊作業員	1.000	人			
	普通作業員	2.000	人			
	バックホウ[クロー型・クレーン・超低・排対型(～2011)] クロー型 山積0.45m3(平積0.35m3)	1.600	日			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	軽油	57.000	L			
	バックホウ給油					算出数量 23.400 m
	合計					
	単価		m			
	*** S単 - 7号 ***					
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	VU,75mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所			1)管種区分 2)管径区分(mm) 3)形状区分 4)管長区分 5)接合箇所	超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0
	VU 75mm			直管(両差し口)		
	直管(両差し口)			4.0m管		
	0箇所					
	硬質ポリ塩化ビニル管	2.440	本			
	薄肉管VU 径75 長4.0m					
	雑材料費	0.020				
	土木一般世話役	0.080	人			
	特殊作業員	0.120	人			
	普通作業員	0.170	人			
	合計					算出数量 10.000 m
	単価		m			
	*** S単 - 8号 ***					
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0	
	土管・陶管,不整地運搬車クロー型 油圧ダンプ 2.0t,50mを超え100m以下,あり			超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料区分 2)機械区分	土管・陶管 不整地運搬車クロー型 油圧ダンプ 2.0t				

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)運搬距離区分 4)長期割引単価区分(賃料機械)	50mを超え100m以下				
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式・排対型(～2次)] 積載質量 2.0t	1.550	日			
	軽油 バト-ル給油	14.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	普通作業員 積卸し	0.360	人			
	合計					算出数量 6.600 ton
	単価		ton			
	*** S単 - 9号 ***					
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管))		ton		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50m以下,あり					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 豪雪補正:10% 基本給時間:8.0
	1)材料区分 2)機械区分	土管・陶管 不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t				超勤時間:0.0 深夜時間:0.0 会社割引補正:なし 週休:補正なし
	3)運搬距離区分 4)長期割引単価区分(賃料機械)	50m以下				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式・排対型(～2次)] 積載質量 2.0t	1.550	日			
	軽油 バト-ル給油	14.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	普通作業員 積卸し	0.390	人			
	合計					算出数量 7.200 ton
	単価		ton			
	*** S単 - 10号 ***					
	暗渠排水工(小運搬(被覆材))		m3		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 砕石,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 豪雪補正:10% 基本給時間:8.0
	1)材料区分 2)機械区分	砕石 不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t				超勤時間:0.0 深夜時間:0.0 会社割引補正:なし 週休:補正なし
	3)運搬距離区分	50mを超え100m以下				時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式] 3.0t積	1.550	供用日			
	軽油 バト-ル給油	20.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	合計					算出数量 32.900 m3
	単価		m3			
	*** S単 - 11号 ***					
	暗渠排水工(バックホウ掘削)		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管, 75mm					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 豪雪補正:10% 基本給時間:8.0
	1)掘削深(m) 2)排水管の種類 3)口径区分(mm)	0.5 h 0.7m 土管・陶管 75mm				超勤時間:0.0 深夜時間:0.0 会社割引補正:なし 週休:補正なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	バックホウ[加-ラ型・排対型(2次)] 標準バケット容量 山積0.28m3(平積0.2m3)	1.660	供用日			
	軽油 バト-ル給油	34.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	土木一般世話役	0.400	人			
	特殊作業員	0.400	人			
	普通作業員	1.000	人			
	普通作業員	1.000	人			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	合計					算出数量 111.000 m
	単価		m			
	*** S単 - 12号 ***					
	暗渠排水工(バックホウ掘削)		m		1.000 日	歩A 当たり算出
	暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.7<h 1.0m,土管・陶管, 75mm					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0
	1)掘削深(m)	0.7<h 1.0m				
	2)排水管の種類	土管・陶管				
	3)口径区分(mm)	75mm				
	バックホウ[加圧型・排対型(2次)] 標準バック容量 山積0.28m3(平積0.2m3)	1.660	供用日			
	軽油					
	バックホウ給油	34.000	L			
	運転手(特殊)	1.000	人			
	土木一般世話役	0.400	人			
	特殊作業員	0.400	人			
	普通作業員	1.000	人			
	普通作業員	2.000	人			
	合計					算出数量 111.000 m
	単価		m			
	*** S単 - 13号 ***					
	トラック[クレーン装置付]		時間		1.000 各単位	歩A 当たり算出
	トラック[クレーン装置付] A-ストラック4~4.5t積 2.0t吊, 運転1時間当たり算出					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0
	1)機械コード 単位が時間のみ					
	2)機械コード(同上)					
	3)機械損料算出区分	運転1時間当たり算出				
	4)運転1日当たり運転時間(T)	5.8時間				
	5)運転日に対する供用日の割合(YC)	1.23				
	6)単価計上区分					
	7)岩石補正区分	岩石補正なし				
	8)燃料の計上方法	機械経費算定基準値による				
	9)燃料区分	軽油				
	10)燃料消費量(入力の場合)	0.0				
	11)消耗部品の計上の有無	消耗部品の計上しない				
	13)消耗部品費の適用条件(2)	消耗部品なし				
	14)名称(消耗部品)	-				
	15)規格(消耗部品)	-				
	トラック[クレーン装置付] A-ストラック4~4.5t積 2.0t吊	1.000	時間			
	軽油					
	バックホウ給油	5.300	L			
	運転手(特殊)	0.170	人			
	合計					算出数量 1.000 各単位
	単価		各単位			
	単位					
	*** S単 - 14号 ***					
	敷鉄板設置・撤去工		m ²		1,000.000 m ²	歩A 当たり算出
	敷鉄板設置・撤去工 設置~賃料~撤去,8.1,あり					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0
	1)施工区分	設置~賃料~撤去				
	2)供用日数	8				
	3)使用回数	1				
	4)長期割引単価区分(賃料機械)					
	敷鉄板 22*1524*6096 [賃料]	1,000.000	m ² 供用日			
	敷鉄板 22*1524*6096 [整備費]	1,000.000	m ²			
	特殊作業員	2.900	人			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	普通作業員	2.900	人			
	バックホウ[加圧型・クレーン・超低・排対型(～2014)] 標準バックホウ容量 山積0.8m3(平積0.6m3)吊能力2.9t	3.310	日			
	軽油	345.000	L			
	運転手(特殊)	2.900	人			
	合計					算出数量 1,000.000 m ²
	単価		m ²			
	*** S単 - 15号 ***					
	輸送費(仮設材)		ton		1.000 ton	歩A 当たり算出
	輸送費(仮設材) 基本運賃(自動入力),12m以内,10kmまで,往復計上,計上する(敷鉄板),基地(積込・取卸)+現場(積込・取卸),0.0,0.0			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)使用単価区分					
	2)運賃料金(円/ton)	0円				
	3)製品長	12m以内				
	4)運搬距離(片道)	10kmまで				
	5)計上方法	往復計上				
	6)積卸し計上区分	計上する(敷鉄板)				
	7)積卸し区分(敷鉄板)	基地(積込・取卸)+現場(積込・取卸)				
	9)冬期割増率(実数)	0.0				
	10)深夜早朝割増率(実数)	0.0				
	仮設材輸送運賃料金 10km以下 製品長12m以内	1.000	ton			
	積卸し費 基地積込み・取卸し+現場積込み・取卸し	1.000	ton			
	合計					算出数量 1.000 ton
	単価		ton			
	*** S単 - 16号 ***					
	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),-, -, -, -, -			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	上記以外(小規模)				
	3)押土の有無	-				
	4)障害の有無	-				
	5)施工数量	標準				
	6)火薬使用	-				
	7)破砕片除去の有無	-				
	8)集積押土の有無	-				
	単価		m3			
	*** S単 - 17号 ***					
	SP 掘削		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,現場制約あり, -, -, -, -, -			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質	土砂				
	2)施工方法	現場制約あり				
	3)押土の有無	-				
	4)障害の有無	-				
	5)施工数量	-				
	6)火薬使用	-				
	7)破砕片除去の有無	-				
	8)集積押土の有無	-				
	単価		m3			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 18号 ***					
	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)作業内容	土砂 小規模(標準)				
	単 価		m3			
	*** S単 - 19号 ***					
	SP 積込(ルーズ)		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準以外)			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)作業内容	土砂 小規模(標準以外)				
	単 価		m3			
	*** S単 - 20号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,現場制約あり,-,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 現場制約あり - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 21号 ***					
	SP 床掘り		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,上記以外(小規模),-,-			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質 2)施工方法 3)土留方式の種類 4)障害の有無	土砂 上記以外(小規模) - -				
	単 価		m3			
	*** S単 - 22号 ***					
	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾙ山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,無し,13.0km以下			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)D1D区間の有無 5)運搬距離	小規模 ﾊﾞｯｸﾙ山積0.28m3(平積0.2m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 13.0km以下				
	単 価		m3			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	*** S単 - 23号 ***					
	SP 土砂等運搬		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP 土砂等運搬 小規模,ﾊﾞｯｸﾙ山積0.13m3(平積0.1m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む) ,無し,17.0km以下					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)土砂等発生現場 2)積込機種・規格 3)土質 4)DID区間の有無 5)運搬距離	小規模 ﾊﾞｯｸﾙ山積0.13m3(平積0.1m3) 土砂(岩塊・玉石混り土含む) 無し 17.0km以下				
	単 価		m3			
	*** S単 - 24号 ***					
	SP 法面整形		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 法面整形 盛土部,有り,有り,砂及び砂質土,粘性土					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)整形箇所 2)法面締固めの有無 3)現場制約の有無 4)土質	盛土部 有り 有り 砂及び砂質土,粘性土				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 25号 ***					
	SP 吸出し防止材(全面)設置		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 吸出し防止材(全面)設置 -					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)作業区分	-				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 26号 ***					
	SP 基礎碎石		m ³		1.000 m ³	歩A 当たり算出
	SP 基礎碎石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,あり,再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)碎石の厚さ 2)碎石の計上 3)長期割引単価区分 4)規格区分	7.5cmを超え12.5cm以下 計上する 再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm				
	単 価		m ³			
	*** S単 - 27号 ***					
	SP コンクリート		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高 炉B) W/C65%					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0
	1)構造物種別 2)打設工法	小型構造物 人力打設				

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	3)コンクリートの計上	計上する				
	4)設計日打設置量	-				
	5)養生工の種類	一般養生				
	6)圧送管延長距離区分	-				
	7)現場内小運搬の有無	無し				
	8)打設高さ、水平打設距離	-				
	10)規格区分	18-8-40(高炉B) W/C65%				
	単 価		m3			
	*** S単 - 28号 ***					
	SP 型枠		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)型枠の種類	一般型枠				
	2)構造物の種類	小型構造物				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 29号 ***					
	SP 目地板		m ²		1.000 m ²	歩A 当たり算出
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)1工事当り使用量	30m2未満				
	2)目地板の計上	計上する				
	3)規格区分	目地板(瀝青質板) t=10mm				
	単 価		m ²			
	*** S単 - 30号 ***					
	モルタル現場練合わせ		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)材料区分	洗砂(細目)				
	2)配合比区分	1:2				
	高炉セメント B種 25kg入	0.580	ton			
	洗砂 洗砂(細目)	0.680	m3			
	混和剤 防水剤 マノール相当	0.000	kg			計上無し
	普通作業員	0.970	人			
	諸雑費 9%	0.090				
	合 計					算出数量 1.000 m3
	単 価		m3			
	*** S単 - 31号 ***					
	人力床均し		m ²		10.000 m ²	歩A 当たり算出
	人力床均し 土砂			冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 超勤時間:0.0 公社割引補正:なし 時間的制約:なし 夜間制約作業時間:0.0	豪雪補正:10% 基本給時間:8.0 深夜時間:0.0 週休:補正なし 制約作業時間:0.0	
	1)土質区分	土砂				
	普通作業員	0.120	人			
	合 計					算出数量 10.000 m ²

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称	数量	単位	単価	金額	備考
	単 価		m ²			
	*** S単 - 32号 ***					
	人力石礫除去工		a		10.000 a	歩A 当たり算出
	人力石礫除去工 1m3/10a未満m3/10a,あり					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 豪雪補正:10% 基本給時間:8.0
	1)10a当たり除去量(m3/10a未満) 2)長期割引単価区分(賃料機械)	1m3/10a未満m3/10a				超勤時間:0.0 深夜時間:0.0 会社割引補正:なし 週休:補正なし 時間的制約:なし 制約作業時間:0.0 夜間制約作業時間:0.0
	不整地運搬車[加-ラ型・油圧ダンプ式・排対型(～2次)] 積載質量 2.0t	0.040	日			
	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	0.360	L			
	運転手(特殊) 不整地運搬車運転	0.020	人			
	普通作業員	0.260	人			
	合 計					算出数量 10.000 a
	単 価		a			
	*** S単 - 33号 ***					
	田面砕土(ロータリ)		a		1.000 ha	歩A 当たり算出
	田面砕土(ロータリ) 田面砕土,良好,25m,100m,1回掛,乾燥,粘性土,0～4°未満					冬期補正:なし 亜熱帯補正:なし 豪雪補正:10% 基本給時間:8.0
	1)施工区分	田面砕土				超勤時間:0.0 深夜時間:0.0 会社割引補正:なし 週休:補正なし
	2)作業条件	良好				時間的制約:なし 制約作業時間:0.0 夜間制約作業時間:0.0
	3)ほ場の短辺の長さ(a)	25.000m				
	4)ほ場の長辺の長さ(b)	100.000m				
	5)掛回数	1回掛				
	6)土の状態	乾燥				
	7)土質区分	粘性土				
	8)傾斜区分	0～4°未満				
	R-クワータ- [直装式] 作業幅 1.6～1.8m級	6.700	時間			
	農用トラクタ[乗用・ﾍﾞｰﾙ型] 四輪駆動 30～44kw級(40～60PS)	6.700	時間			
	軽油 ﾊﾞﾄﾙ給油	36.000	L			
	運転手(一般)	1.340	人			
	合 計					算出数量 1.000 ha
	単 価		a			

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	*** 丁単 - 1号 ***					
	表土剥ぎ取り・表土戻し・整地・石礫除去		a		1.000 a	歩A 当たり算出
	SP 掘削 土砂,上記以外(小規模),標準,標準	15.000	m3			S単 16号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	15.000	m3			S単 18号
	田面砕土(ロータリ) 田面砕土,良好,25m,100m,1回掛,乾燥,粘性土,0~4' 未満	1.000	a			S単 33号
	人力石礫除去工 1m3/10a未満m3/10a,あり	1.000	a			S単 32号 算出数量 1.000 a
	合計					
	単価		a			
	*** 丁単 - 2号 ***					
	吐出管工		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	硬質ポリ塩化ビニル管人力布設 VU,75mm,直管(両差し口),4.0m管,0箇所	1.000	m			S単 7号 算出数量 1.000 m
	合計					
	単価		m			
	*** 丁単 - 3号 ***					
	吐出管土工		m3		1.000 m3	歩A 当たり算出
	埋戻 人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,タンバ()	1.000	m3			S単 1号 算出数量 1.000 m3
	合計					
	単価		m3			
	*** 丁単 - 4号 ***					
	水閘		箇所		1.000 箇所	歩A 当たり算出
	水平式 75 水平水閘 75	1.000	個			
	焼きしめ土管(直管) 内径 150mm × 管長 600mm	1.000	本			
	モルタル現場練合わせ 洗砂(細目),1:2	0.002	m3			S単 30号 算出数量 1.000 箇所
	合計					
	単価		箇所			
	*** 丁単 - 5号 ***					
	機械回送費		現場		1.000 現場	歩A 当たり算出
	トラック[クレーン装置付] ﾊﾞｰｽﾄﾗｯｸ4~4.5t積 2.0t吊,,運転1時間当たり算出	1.000	時間			S単 13号 算出数量 1.000 現場
	合計					
	単価		現場			
	*** 丁単 - 6号 ***					
	柵渠側壁撤去・再設置(NK-1) H=300		枚		1.000 枚	歩A 当たり算出

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	63kg/(63kg×6枚+126kg×1個)=0.125					
	柵渠設置 H=900、B=600	0.125	組			C単 1号
	柵渠設置 H=900、B=600	0.063	組			C単 1号 算出数量 1.000 枚
	合計					
	単価		枚			
	*** 丁単 - 7号 ***					
	吸出し防止材布設(左)(NK-1)		m		1.000 m	歩A 当たり算出
	SP 床掘り 土砂,現場制約あり,-,-	0.140	m ³			S単 20号
	人力土工(盛土・埋戻) 粘性土・礫質土,埋戻,はね付け+まき出し,タンバ()	0.260	m ³			S単 1号
	山土	0.120	m ³			
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,30~50m	0.120	m ³			S単 3号
	SP 吸出し防止材(全面)設置 -	0.900	m ²			S単 25号 算出数量 1.000 m
	合計					
	単価		m			
	*** 丁単 - 8号 ***					
	暗渠排水工(既設管入れ替え)(NK-2)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	焼締管 75、(掘削深H=0.74)、小運搬D=100以下 暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.7<h 1.0m,土管・陶管, 75mm	10.000	m			S単 12号
	焼きしめ土管(直管) 内径 75mm × 管長 600mm	16.667	本			
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50mを超え100m以下,あり	0.067	ton			S単 8号
	単粒度碎石 3号 40~30mm	1.500	m ³			
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 碎石,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下	1.500	m ³			S単 10号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	1.520	m ³			S単 4号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1.520	m ³			S単 18号
	SP 土砂等運搬 小規模,1' 7' 約山積0.28m ³ (平積0.2m ³),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,13.0 km以下	1.520	m ³			S単 22号
	残土処分費 赤松産業	1.520	m ³			S単 5号 算出数量 10.000 m
	合計					
	単価		m			
	*** 丁単 - 9号 ***					
	暗渠排水工(NK-2)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	焼締管 75、(掘削深H=0.61)、小運搬D=100以下 暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管, 75mm	10.000	m			S単 11号
	焼きしめ土管(直管) 内径 75mm × 管長 600mm	16.667	本			
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 2.0t,50mを超え100m以下,あり	0.067	ton			S単 8号
	単粒度碎石 3号 40~30mm	1.000	m ³			
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 碎石,不整地運搬車加-ラ型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下	1.000	m ³			S単 10号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	1.020	m ³			S単 4号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1.020	m ³			S単 18号

事業名	しっかり守る農村基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農村基盤交付金事業(中山1工区)工事

コード	名称(規格)	数量	単位	単価	金額	備考
	SP 土砂等運搬 小規模,ハツ納山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,13.0 km以下	1.020	m3			S単 22号
	残土処分費 赤松産業	1.020	m3			S単 5号 算出数量 10.000 m
	合計					
	単価		m			
	*** 丁単 - 10号 ***					
	暗渠排水工(NK-3)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	焼締管 75、(掘削深H=0.69)、小運搬D=100以下 暗渠排水工(バックホウ掘削) 0.5 h 0.7m,土管・陶管, 75mm	10.000	m			S単 11号
	焼きしめ土管(直管) 内径 75mm x 管長 600mm	16.667	本			
	暗渠排水工(小運搬(土管・陶管)) 土管・陶管,不整地運搬車加-型 油圧ダンプ 2.0t,50m以下,あり	0.067	ton			S単 9号
	単粒度砕石 3号 40~30mm	1.407	m3			
	暗渠排水工(小運搬(被覆材)) 砕石,不整地運搬車加-型 油圧ダンプ 3.0t,50mを超え100m以下	1.407	m3			S単 10号
	機械小運搬(土砂類、生コン) 砂・砂利・栗石,100m未満	1.330	m3			S単 4号
	SP 積込(ルーズ) 土砂,小規模(標準)	1.330	m3			S単 18号
	SP 土砂等運搬 小規模,ハツ納山積0.28m3(平積0.2m3),土砂(岩塊・玉石混り土含む),無し,13.0 km以下	1.330	m3			S単 22号
	残土処分費 赤松産業	1.330	m3			S単 5号 算出数量 10.000 m
	合計					
	単価		m			
	*** 丁単 - 11号 ***					
	高上げ工(NK-6)		m		10.000 m	歩A 当たり算出
	SP コンクリート 小型構造物,人力打設,計上する,-,一般養生,-,無し,-,18-8-40(高炉B) W/C65%	1.110	m3			S単 27号
	SP 型枠 一般型枠,小型構造物	9.230	m ²			S単 28号
	SP 基礎砕石 7.5cmを超え12.5cm以下,計上する,あり,再生クラッシャーラン RC-40 40~0mm	2.290	m ²			S単 26号
	SP 目地板 30m2未満,計上する,目地板(瀝青質板) t=10mm	0.111	m ²			S単 29号 算出数量 10.000 m
	合計					
	単価		m			

設 計 圖 面
数 量 表

(中 山 1 工 区)

設 計 圖 面
数 量 表

設
計
圖
面



吸出し防止材設置及びA・B補再設置

敷鉄板 2枚

NO. 0

KBM
H=40.000

表土剥ぎ取り・戻し・整地・石礫除去
L=72.3m B=3.0m

40.5

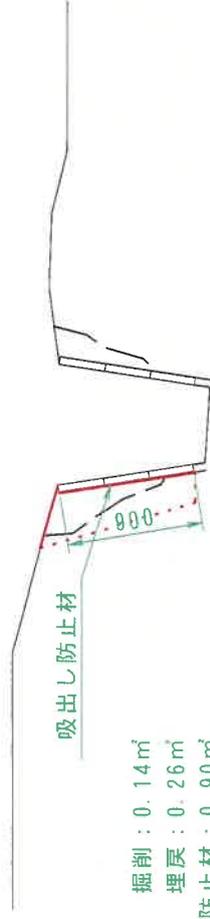
EP

NK-1 排水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区) 工事
施工年度	令和7年度
施工位置	大山町住吉
図面の名称	計画平面図
縮尺	1:500
図面番号	

断面図

S=1:50



掘削 : 0.14m²

埋戻 : 0.26m²

吸出し防止材 : 0.90m²

DL=38.00

NK-1 排水路改修

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町住吉
図面の名称			
断面図			
縮尺	1:50	図面番号	

表

量

数

設 計 図 面
数 量 表

設 計 圖 面



76.7

水甲入替 (新規)

既設暗渠

排水溝

②暗渠排水
L=10.0m
i=1/400
H=0.60

①暗渠排水
L=5.0m
i=1/400
H=0.73

③暗渠排水
L=3.8m
i=1/400
H=0.60

5.0m

KRM
H=68.300

道路

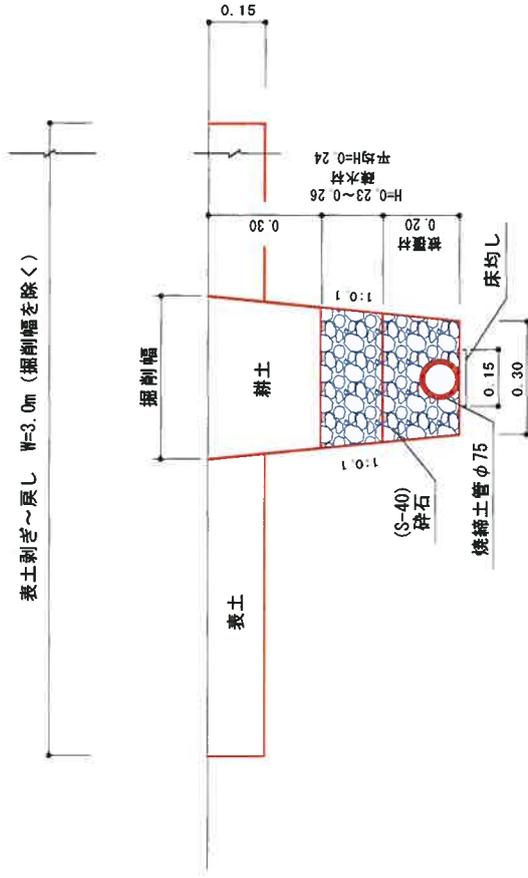
NK-2 暗渠排水

事業名	しつかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しつかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山市遠休寺
図面の名称			
縮尺	1:500	図面番号	

暗渠排水 (土管 φ75)	-----
排水管 (UJ φ75)	- - - - -
吐出管 (UJ φ75)	=====
水閘 (UJ φ75)	○

暗渠排水 (既設入替)

S=1:20



数量表			10.0m当り
名称	規格	単位	数量
掘削		m ³	2.77
埋戻	耕土	m ³	1.25
被覆材	砕石S-40	m ³	0.56
疎水材	砕石S-40	m ³	0.87
暗渠排水管	焼締土管φ75	m	10.0
床均し		m ²	1.50

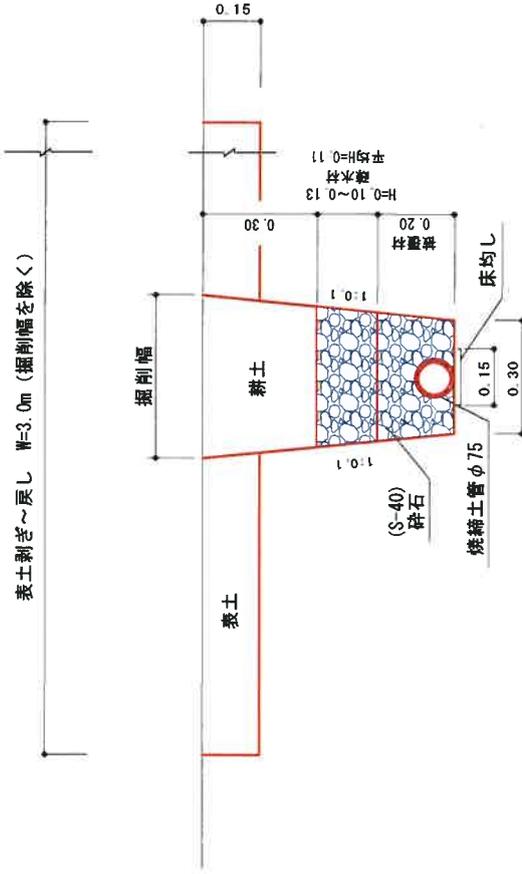
掘削: $(0.74 \times 0.2 + 0.6) / 2 \times 0.74 \times 10.0 = 2.7676$
 埋戻: $(0.27676 - (0.44 \times 0.2 + 0.6) / 2 \times 0.44) \times 10.0 = 1.254$
 疎水材: $(0.44 \times 0.2 + 0.6) / 2 \times 0.44 - (0.20 \times 0.2 + 0.6) / 2 \times 0.20 \times 10.0 = 0.8736$

NK-2 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山市遠休寺
図面の名称	構造図		
縮尺	1:20	図面番号	

暗渠排水 (新規)

S=1:20



数量表		10.0m当り	
名称	規格	単位	数量
掘削		m ³	2.20
埋戻	耕土	m ³	1.18
被覆材	砕石S-40	m ³	0.56
疎水材	砕石S-40	m ³	0.39
暗渠排水管	焼締土管φ75	m	10.0
床均し		m ²	1.50

掘削: [(0.61*0.2+0.6)/2*0.61]*10.0=2.2021

埋戻: [(0.22021-(0.31*0.2+0.6)/2*0.31)*10.0]=1.176

疎水材: [(0.31*0.2+0.6)/2*0.31-(0.20*0.2+0.6)/2*0.20]*10.0=0.3861

NK-2 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町温体寺
図面の名称	構造図		
縮尺	1:20	図面番号	

表

量

数

設 計 図 面
数 量 表

面

図

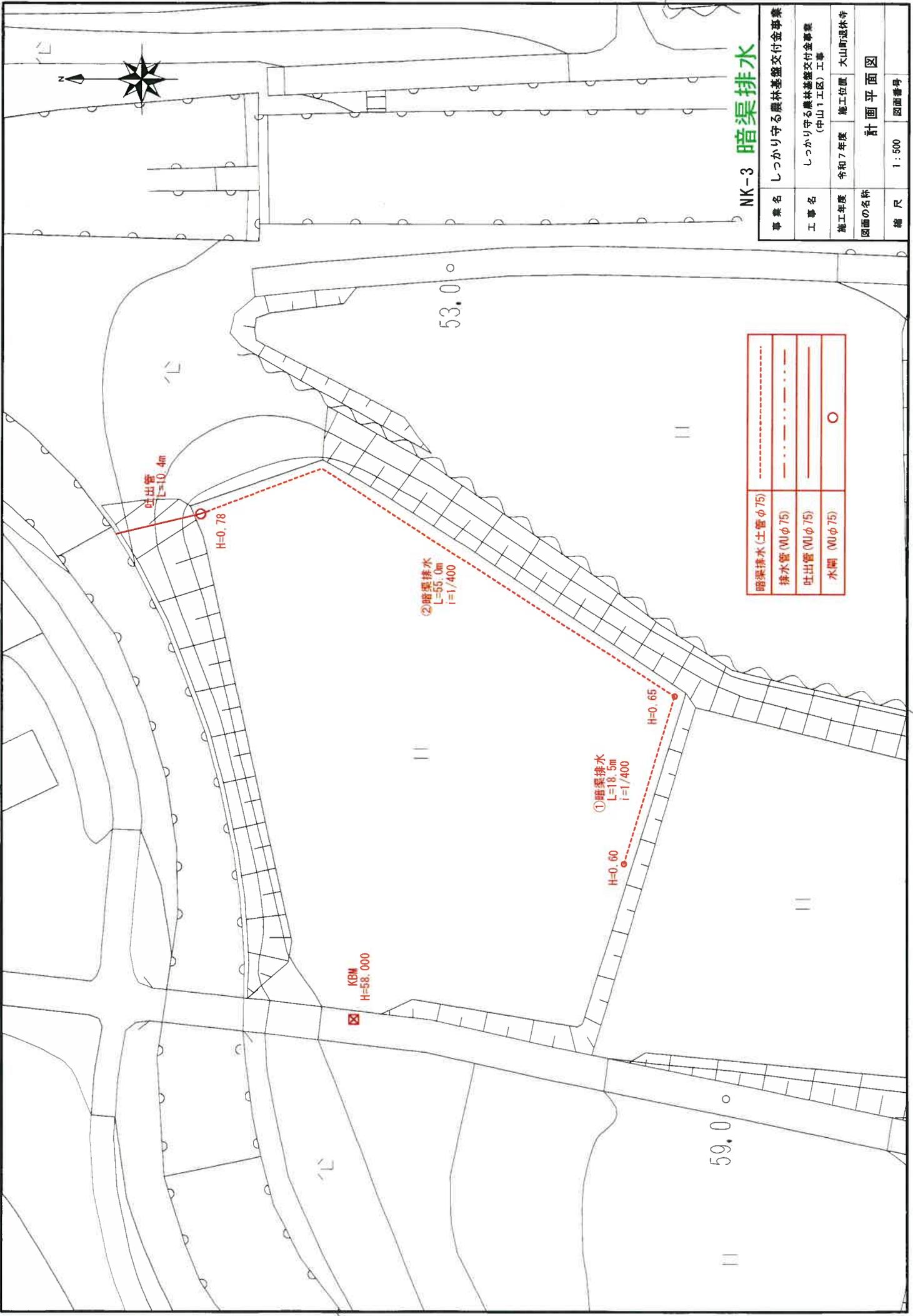
計

設



NK-3 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基礎交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基礎交付金事業 (中山工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山市湯休寺
図面の名称	計画平面図		
縮尺	1:500	図面番号	



吐出管
L=10.4m
H=0.78

②暗渠排水
L=55.0m
i=1/400

①暗渠排水
L=18.5m
i=1/400

KM
H=58.000

H=0.60

H=0.65

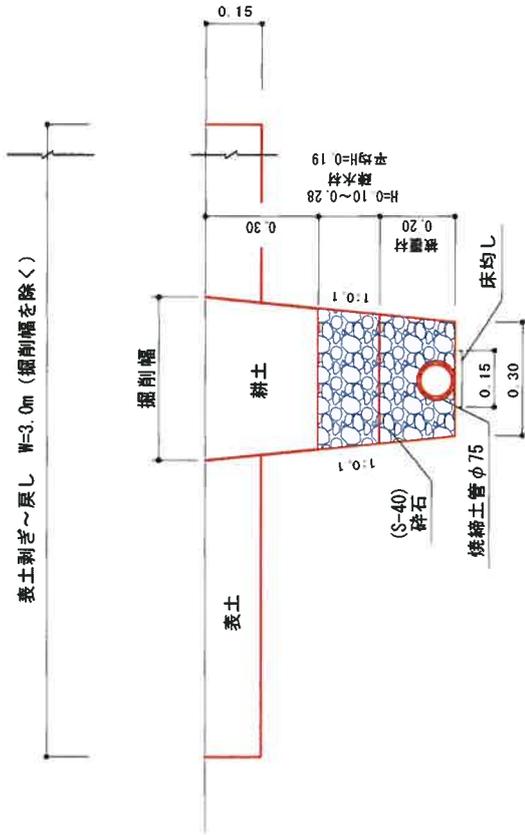
53.0

59.0

暗渠排水 (土管φ75)	---
排水管 (Uφ75)	- - - - -
吐出管 (Uφ75)	— — — — —
水閘 (Uφ75)	○

暗渠排水 断面図

S=1:20



数量表		10.0m当り	
名称	規格	単位	数量
掘削		m ³	2.55
埋戻	耕土	m ³	1.22
被覆材	砕石-S-40	m ³	0.56
疎水材	砕石-S-40	m ³	0.78
暗渠排水管	焼締土管φ75	m	10.0
床均し		m ²	1.50

掘削: $[(0.69 \times 0.2 + 0.6) / 2 + 0.69] \times 10.0 = 2.5461$

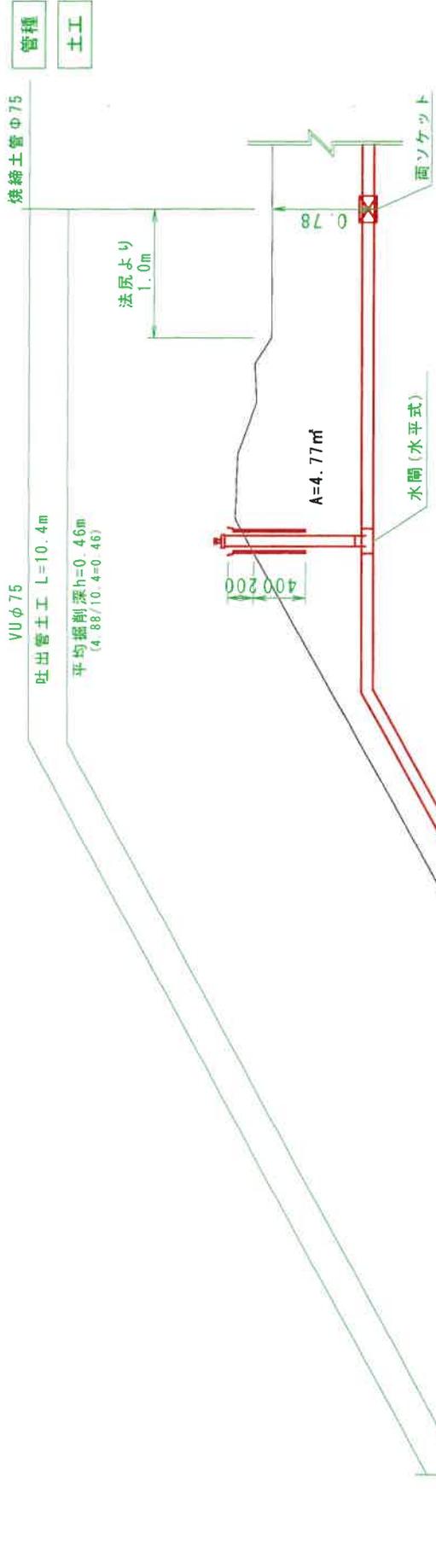
埋戻: $[0.25461 - (0.39 \times 0.2 + 0.6) / 2 + 0.39] \times 10.0 = 1.224$

疎水材: $[(0.39 \times 0.2 + 0.6) / 2 + 0.39 - (0.20 \times 0.2 + 0.6) / 2 + 0.20] \times 10.0 = 0.6821$

NK-3 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町湯休寺
図面の名称	断面図		
縮尺	1:20	図面番号	

吐出管



DL=55.00

NK-3 暗渠排水

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町退林寺
図面の名称	断面図		
総尺	1:50	図面番号	

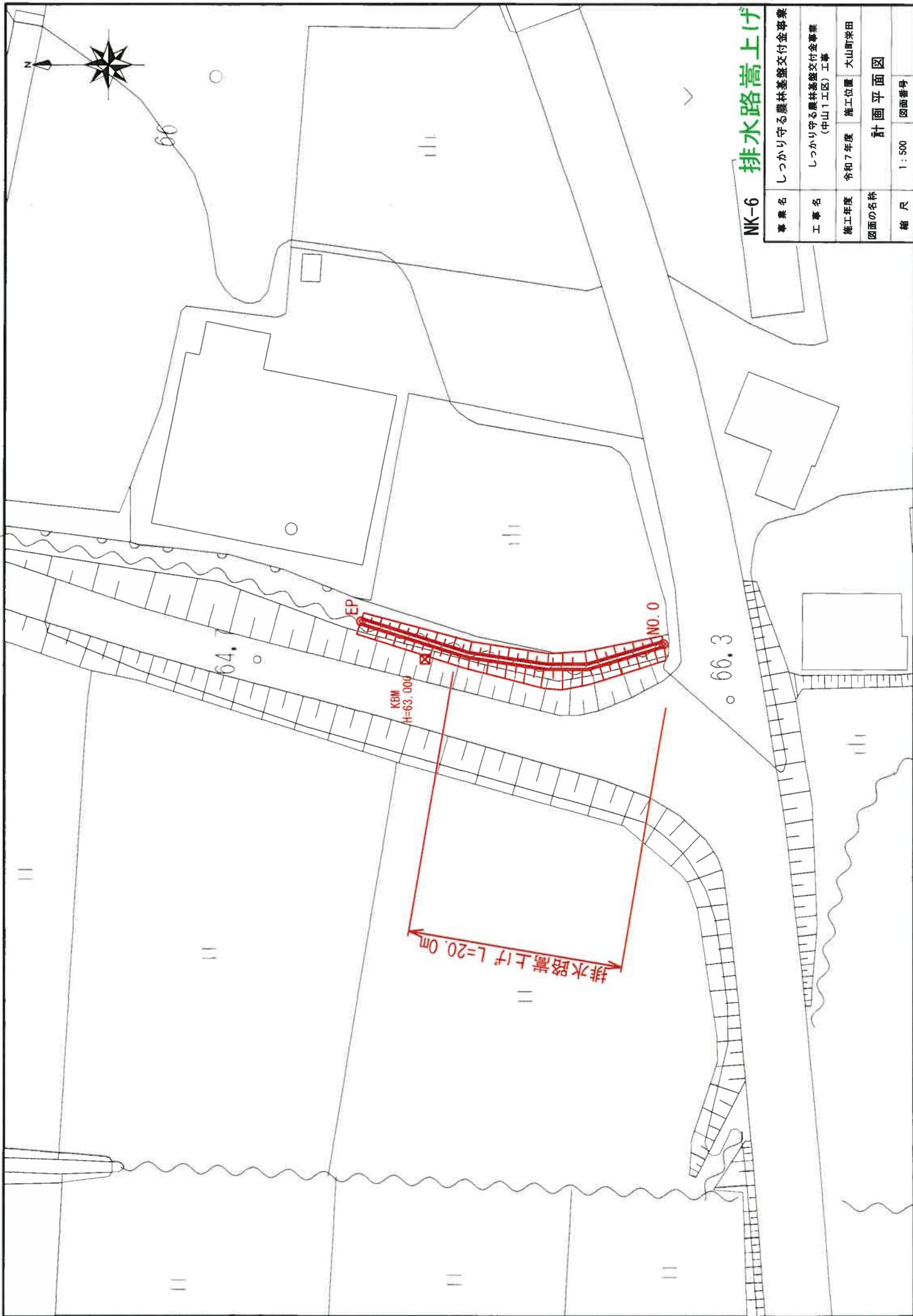
表

量

数

設 計 図 面
数 量 表

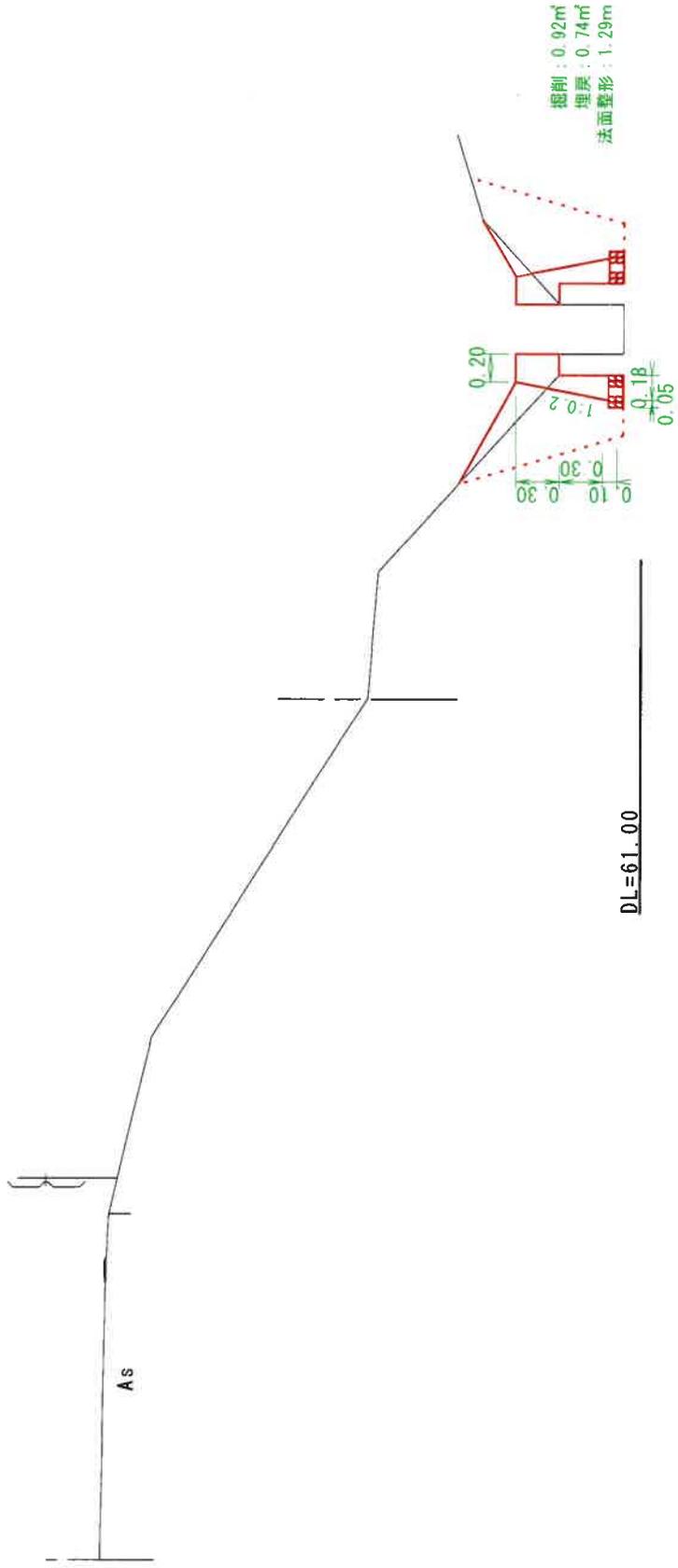
設
計
圖
面



NK-6 排水路嵩上げ

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町米田
図面の名称	計画平面図		
縮尺	1:500	図面番号	

断面図
S=1:50

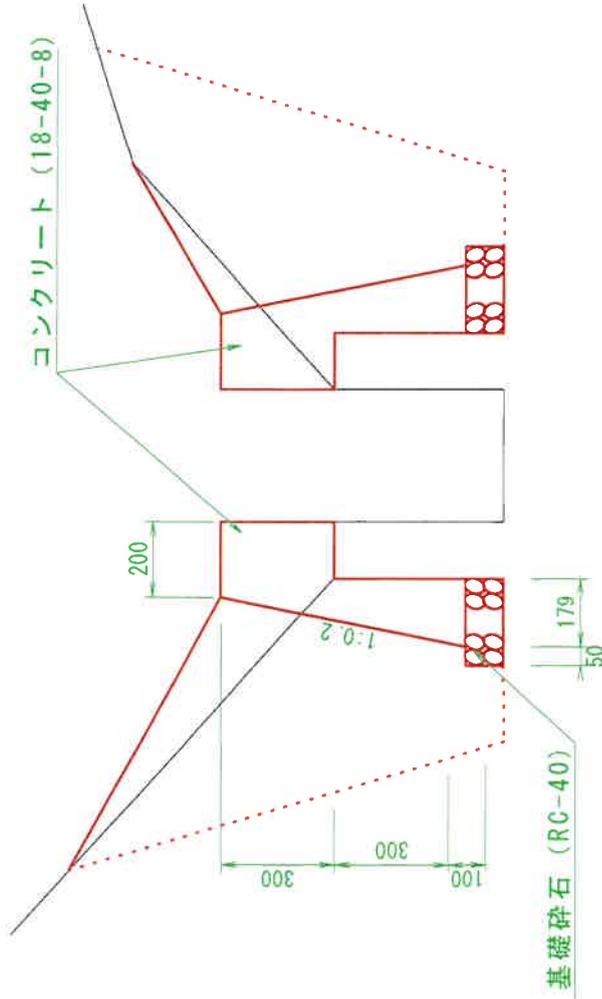


NK-6 排水路嵩上げ

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区)工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町栄田
図面の名称	断面図		
縮尺	1:50	図面番号	

嵩上げ工

S=1:20



嵩上げ工数量表		10.0m当り	
名称	規格	単位	数量
コンクリート	18-40-8	m ³	1.42
型枠		m ²	9.10
基礎砕石	RC-40 t=100	m ³	3.30
目地版		m ²	0.142

NK-6 排水路嵩上げ

事業名	しっかり守る農林基盤交付金事業		
工事名	しっかり守る農林基盤交付金事業 (中山1工区) 工事		
施工年度	令和7年度	施工位置	大山町米田
図面の名称	構造図		
縮尺	1:50	図面番号	

表

量

数

土工数量計算書

測点番号	測点間距離	掘削			埋め戻し			法面仕上げ			式	長さ	備考
		断面	平均断面	立積	断面	平均断面	立積	長さ	平均断面	平積			
NO. 0		0.92			0.74			1.290					
NO. 0 + 20.00	20.00	0.92	0.92	18.40	0.74	0.74	14.80	1.290	1.29	25.80			
			0.46			0.37			0.65				
計	20.00			18.40			14.80			25.80			

第 1 表

延長調書

嵩上げ

測 点	単位	延長又は個数	備 考
No. 0～No. 0+20	m	20.0	
計		20.0	
測 点	単位	延長又は個数	備 考
	m		
計		0.0	
測 点	単位	延長又は個数	備 考
	m		
計		0.0	
測 点	単位	延長又は個数	備 考
計			